

演劇を通して日本語教育の現場を見直す —「フォーラム・シアター」体験ワークショップ—

「フォーラム・シアター」は、ブラジルの演劇運動家アウグスト・ボアールによって考案された「参加する演劇」です。パウロ・フレイレの教育学から影響を受けたもので、当事者の経験や取材に基づいたエピソードを演劇にして、それを見て、考え、さらに役に成り代わって劇中で行動してみることで、問題を共有し、対話をしながら検討するという手法です。本研修では、多様な日本語教育の現場での出来事や、気になっていることなどを題材に、演劇という道具を使って表現し、解きほぐし、現実を動かしていくヒントを多角的な視点から見出すことを体験します。

※「フォーラム・シアター」について詳しくはこちら⇒ <http://www.edg.or.jp/aboutus.html>

日時：2016年6月18日(土)10時30分～18時

会場：東京大学 駒場 I キャンパス **地図・アクセス**

コミュニケーションプラザ北館 3階 身体運動実習室1(P301)

講師：花崎 攝(はなさき せつ)氏(企業組合演劇デザインギルド, 他)

コーディネーター：矢部まゆみ, 宇佐美洋, 菊岡由夏(教師研修委員)

対象：地域における在住外国人や外国につながる子どもたちを対象とした日本語教育に携わる方々, 教育機関で留学生や日本人学生を対象とした言語教育活動に携わる方々

定員：30名(先着順) ※当日は動きやすい服装でご参加ください(更衣室あり)

受講料：一般 5,000 円/会員 4,000 円/大学院生 3,000 円

内容：予定のため変更することがあります。

10:30-11:30	趣旨説明, コミュニケーションゲーム
11:30-14:30	「フォーラム・シアター」の為のからだを使ったエクササイズ 「題材にしたいこと」の掘り起こし, 劇づくり ※途中で昼食休憩 60 分予定
14:30-17:00	「フォーラム・シアター」
17:00-18:00	振り返り, ディスカッション

～講師からのメッセージ～ 花崎 攝(はなさき せつ)氏

「フォーラム・シアター」を考案したボアールは、「私たちは、演劇を演ずることで、いかに社会で生きていくのかを学ぶのである。」と述べています。みなさんと、からだを動かしながら感じ、考え、視点や意見、経験の交換をしたいと思います。



<講師プロフィール>

各地で演劇ワークショップと公演活動を展開中。特に子供と女性、障害のある人とのワークショップを中心に、演劇をより開かれた表現行為として活かす活動をしています。

企業組合デザインギルド専務理事, シアター・プラクティショナー
武蔵野美術大学非常勤講師, 日本大学芸術学部非常勤講師

※詳しくはこちら⇒ <http://www.edg.or.jp/aboutus.html>

6月6日
締切

◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ

<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>

からダウンロードして、メール添付または FAX でお送りください。メール応募の場合、題名は「6月18日演劇WS申込」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は6月6日(月)、定員になり次第、締切前でも募集を終了します。

<注意事項>

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9～18時です。週末や夜間の対応は翌日以降となります。なお、本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。応募書類は返却しません。

◆申込および問合せ◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局

E-mail : kyoshikenshu@nkg.or.jp

TEL : 03-3262-4291 FAX : 03-5216-7552

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1

東方学会新館 2F

